

週刊新社会

2月14日 2017年号外 野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

2・19 総がかり行動 一 格差・貧困にノー!! みんなが尊重される社会を! 19日(日) 13時半 日比谷野外音楽堂

建設候補地の環境アセス進行中

新清掃工場はゴミ3割削減が前提

2012年8月の開催以来、新清掃工場建設候補地選定審議会は、2か所の予定候補地の絞り込みを経て、現在船形の清掃第二工場(し尿処理場)脇の候補地の環境アセスメントや地元と市の話し合い、さらには市の処理施設の整備計画づくりを見守っている。

昨年11月の第37回審議会ではこれからの審議を公開に戻すことを決めた。候補地絞り込み時期

は微妙な議論でもあり、非公開の時期が続いていた。

ゴミの30%減量を前提に新清掃工場の処理規模を決めており、そのさらなるごみ減量対策にかかわる廃棄物減量等推進審議会の答申を待つ野田市の清掃行政は次のステップに進む。

今後の選定審議会の日程は以下の通り。

・38回：17年8月～環境アセス

の進捗と施設整備計画進捗の各状況報告、地元まちづくり案検討

・39回：17年10月～環境アセスの進捗と施設整備計画進捗の各状況報告、地元まちづくり案検討

・40回：18年1月～環境アセス結果報告、地元まちづくり案決定

・41回：18年2月～最終候補地の選定とその答申

正職保育士なら応募多数

東京都北区で正規職員の保育士を80人募集したところ、500人も応募があったという。

つまり、保育士不足は臨時職員や私立の労働条件の悪いことが原因だとあらためて思い知らされた。いわゆる保育士不足は、これまでの仕打ちに対する保育士の反乱ではないか。



この漫画はニューヨークタイムズに掲載されたもの。風刺画のタイトルは「Heng on U.S. Ties with Japan」。訳すと「米国と日本の関係」。

この風刺の評価が世界標準。日本のマスコミ報道は情けない。

年金つかって朝貢外交

「公的年金、米インフラに投資
米インフラに投資
首相会談で提案へ」
…が報道され大ブーイングに
いったい人の年金を
なんだと思ってるんだ!
通常の運用ならまだしも
なんで直接投資!?

たいてい年金受給者の
金額が下がってるのだから
日本の年金で
メキシコの国境の壁
作るの??

即座に火消しにかかり、
報道を否定するもの…

そのような事実はない
年金積立金管理運用独立行政法人
(GPIF) 理事長

…が、結果として
アメリカのインフラへ向かう
ということもあり得る
というふうに考えております

…やっぱりアメリカに
年金を持っていくんですね

20170209 作ほうごなつこ

新大統領誕生の背景 求めているのは雇用 金で政治を買い利益を独占する構造拒否

今や、トランプ大統領への非難は正義との感がする。

もちろん、彼の過激な言動は彼一流のやり方であり、交渉術でもある。しかし、その背景にこれまで見えなかった、報道されなかったことを見なければならぬ。

なぜメキシコ国境に壁を作ろうとするのか。巨大なマスコミをたたくのか。

選挙に勝ったのだから何でもやれるというのは、橋本徹氏の傲慢さ同様、とんでもないことだが、なぜ、^{さびついた工業地帯}ラストベルトの白人労働者が熱狂的に支持したのか、その背景を見てみよう。

92年に締結された北米経済連携協定、NAFTAは農業生産と雇用が拡大し国民は豊かになると説明され、マスコミもそう報じた。

しかし、その恩恵を受けたのはアグリビジネスを先頭とする多国籍企業であって、農民と労働者の目の前には地獄の門が開いた。カナダととりわけメキシコの農民は倒産して失業し、アメリカになだれ込み、低賃金労働者としてこれまでの労働者の職を奪い、500万人の失業者を生んだ。

そのような状態の時にオバマ大統領は国内の不法移民に市民権と、条件付きながらも労働許可を与え

た。確かにオバマは理想を語る稀有な大統領だったが、4年前の大統領選挙時、オバマ大統領は民主党の予備選でNAFTAの弊害とその対策を、現在のトランプ大統領とそっくりの演説をしていた。

しかし、オバマはカネでからめ捕られてしまった。オバマケアさえも製薬企業等の金づるにされ、加入者は保険料の高騰に苦しめられている。その上、TPPを推進した。

まさに政治はカネで買える。政治に投資して利益を上げ、貧困を広げる構造に対する怒りが、自前の金で選挙を戦うアウトサイダーのトランプ支持となった。ゴールドマンサックスから巨額の講演料を受け取るヒラリーを拒否した。

まともな政治が行われなければ、貧困やその不安を持つ有権者が民主的な選挙でヒトラー的なものを生み出す。

さあ、どうする。

おさなみ議員のフェイスブックから

沖縄の怒りと涙 無関心こそ最大の罪

おさなみ議員は最近フェイスブックで季節の花などを投稿しているが、下記の引用は2月9日の沖縄問題での投稿から紹介する。

.....

今日はまた沖縄に関する怒りの声を上げてしまいます。

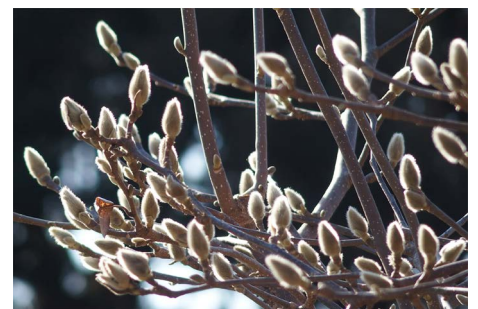
7日の沖縄タイムスの社説を友人が知らせてくれました。沖縄の平和運動のリーダー、山城博治さんが不当逮捕され、3カ月余も長期拘留されていますが、その山城さんに手紙を書くという形式の社説です。

そこには「沖縄の戦中・戦後の歴史体験に触れることなしに、新基地建設反対運動を深く理解する

ことはできない。翁長知事が政府との協議の中で何度も強調してきたことですが、正面から受け止めることはありません。

作家の中野重治は、日中戦争前の1928年に発表された『春さきの風』という小説の最後で、こんな言葉を書き付けています。『わたしらは侮辱のなかに生きています』。この言葉は今の沖縄にこそあてはまると言うべき」との1節がありました。

まさに沖縄県民は戦後一貫して侮辱にさらされてきました。米国の長い長い占領から、日本の平和憲法のもとに復帰しようと希望を求めた先人たちは、今この現状を



何と言うでしょうか。

いつまで日本政府とそれを放置する国民は沖縄を侮辱し続けるのでしょうか。いつまで見て見ぬふりをするのでしょうか.....

怒りの涙がこみ上げてきそうです。

写真はシデコブシのつぼみですが、私たちの願いはいつ花開くのでしょうか。あきらめません。